

いわせ和子

町田市議会議員

自由民主党

選ばれる町田をつくる会
市政レポート2024号
[いわせ和子後援会事務所]
〒195-0053
東京都町田市能ヶ谷4-36-8
FAX 042-735-2027
www.k-iwase.net
mail:info@k-iwase.net

真摯に! 誠実に! 創ります!
「笑顔あふれる町田」

[topic]

母校の桜美林 中学3年生が 「みのり庵 和み」とコラボした 「いもかわプロジェクト」

「こがねふく」は、中3の総合学習で生徒たちが考案したサツマイモを使った大福を、「みのり庵 和み」様にご協力いただき、商品化したものです。

桜美林の畑で育てたサツマイモの収穫から販売までの幅広い経験が学生の未来につながるように、応援していかたいと思いました。

「こがねふく」はモチロン絶品でした。



※赤道（あかみち）とは、かつて道路だったために公園において地番が記載されていない土地のこと



15年前の小山中央小学校落成式で「小山連合町内会会長」の父

私は、父の意志を継いで、ご縁あつて鶴川地区で故斎藤稔先生の後継者として市議会議員にならせて頂き、5期（現在19年）、活動してまいりました。その間、たくさんの皆様との素晴らしいご縁をいただきました。これからも、父のように粉骨碎身、町田市政発展のために子どもから高齢者まで、市民の皆様が暮らしやすい町田とするために尽力し、努めてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

更には、「小山町に新たな中学校を！」、そして「第二の小学校の建設を！」を掲げ実現させてきました。この他にも沢山の実績を残し、現在の小山町と小山ヶ丘の発展があります。

令和4年度第1回定例会にて副議長の要職に就任し、おかげ様で無事に2年間の責務を終えることができました。その間、議会運営の効率化等に尽力し市民要望も沢山戴き、議員として調整力・気付きの大切さ等を再認識いたしました。今後も市議会議員として皆様の声を行政側に届け、解決し、より良い町田を創るために努力してまいります。お支え戴きました皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和5年9月17日に最愛なる父、岩瀬雄二が病気療養中でしたが他界いたしました。享年91歳でした。生前賜りました皆様方のご厚情に心から感謝申し上げます。

父は、町田市小山町で「小山町の統一候補」として、故小峰あきら元市議会議員の後継者として、5期20年に亘り市議会議員として、多くの地元の皆さんのご支援を賜り、「愛する小山町の発展のために！」と粉骨碎身、働いてまいりました。小山町は赤道が多く、特にインフラ整備には力を入れておりました。50件余りの地権者が赤道を死んで説得し、「小山町には駅を造らない！」と言っていた京王電鉄㈱でしたが、「多摩境」という名の駅も誘致しました。

実現させてきました。この他にも沢山の実績を残し、現在の小山町と小山ヶ丘の発展があります。

私は、父の意志を継いで、ご縁あつて鶴川地区で故斎藤稔先生の後継者として市議会議員にならせて頂き、5期（現在19年）、活動してまいりました。その間、たくさんの皆様との素晴らしいご縁をいただきました。これからも、父のように粉骨碎身、町田市政発展のために子どもから高齢者まで、市民の皆様が暮らしやすい町田とするために尽力し、努めてまいります。引き

続き、「指揮ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

（赤道（あかみち）とは、かつて道路だったために公園において地番が記載されていない土地のこと）

検討資料



あなたに代わって質問します。 いわせ和子議会質問

副議長任期満了により今年度から一般質問を再開しております。
暮らしの疑問、地域の困りごとはご相談ください。



Pick up 2023年&2024年の活動



いわせ和子プロフィール 3月11日生まれ (2007年に結婚し現在は細野和子。通称としていわせ和子を使用しています。)

学歴：町田市立小山小学校 桜美林中学校・桜美林高等学校・桜美林短期大学家政科 卒業

現在：町田市議会議員（2006年初当選・現在5期目）、総務常任委員会、東京都十一市競輪事業組合議会議員、東京都六市競艇事業組合議会議員、町田市国民健康保険運営協議会委員、町田市倫理法人会会員、国際ソロブチミスト町田会員、明治神宮崇敬会会員、保護司、自衛隊募集相談員、日本ボートカウト東京連盟町田第20回 団委員、桜美林学園 同窓会幹事

活動歴：町田市議会副議長（2022-2023年）、東京都議会議員秘書、町田ベンチャーライフクラブ 初代会長、鶴二学童保育クラブ父母会会長、千都の杜子ども会会長

資格：中学校教諭免許、秘書技能検定2級、ホームヘルパー2級、色彩能力検定2級、リフレクソロジスト、中型自動二輪免許、JADP認定メンタル心理カウンセラー

家族：夫（先祖は、明治の自由民権運動家 細野喜代四郎）、長男、猫（ちび、保護猫のデコ&ペコ）
父 岩瀬雄二は元市議会議員（5期20年）、2023年9月17日永眠（91歳）

趣味：旅行、フラワーアレンジメント

●防災無線の放送内容確認／0800-800-5181 ●ラジオ放送による災害情報／ラジオ放送による災害情報 FMヨコハマ：84.7MHz エフエムさがみ：83.9MHz

いわせ和子は、FC町田ゼルビア・ASVベスカドーラを応援しています！

2024年度予算において重点的に取り組む事業



生活に密着した問題から優先的に取り組んでいきます。

新規事業:■ 拡充事業:■ 継続事業:■ 事業ごとに色分けしています。

Pick up
して紹介

チャレンジするなら
TOKYOの町田から!



町田の子どもたちのために ～ここでの成長がカタチになるまち～

子どもにやさしい町づくり事業 1,027万円

2024年5月5日、「子どもにやさしいまち条例」を策定。まちだ若者大作戦:中学生から23歳までの若者が自らの力で「やりたいこと」を実現できるよう市の職員がサポートし、プランが採択されると補助金が支給される。

(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業 2,503万円

「子ども・子育て支援を切れ目なく受けることができる施設」「地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所」をコンセプトに「子ども家庭センター」を2024年4月設置した。

出産・子育て応援事業 4億6,639万円

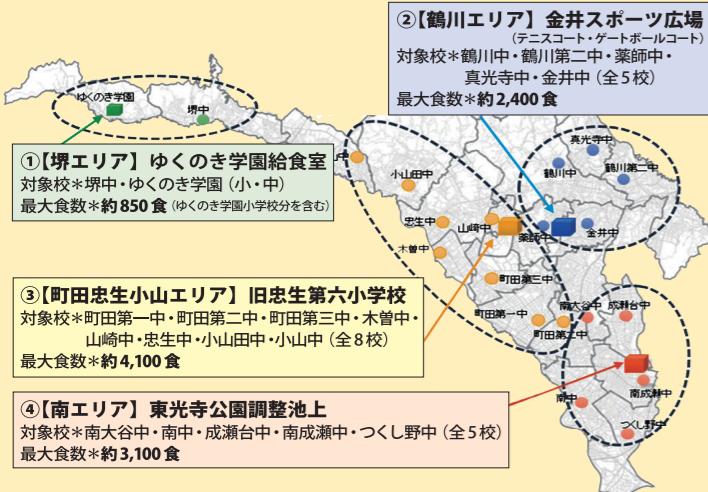
①出産・子育てしっかりサポート事業(妊娠・出産時に5万円相当の応援ギフト)②産後ケア事業(母体・乳児ケア、育児相談を実施)③多胎児家庭支援事業((0.1、2歳)移動経費補助)④ファーストバースデーサポート事業:第1子、1万円。第2子、2万円。第3子、3万円から一律6万円へ増額。

子どもクラブ整備事業 1億6,780万円

(仮称)成瀬地区子どもクラブは、2025年秋頃。(仮称)金井・薬師地区子どもクラブは、2028年開館予定。

中学校給食センター整備事業 20億607万円

2025年度までに中学校の全員給食を実施する。



新たな学校づくり推進事業(統合新設・建替え) 6億1,145万円

本町田・南成瀬地区はPFI事業の契約を締結する。また、推進計画策定以降の環境変化を踏まえ、学校統合や通学区域変更の時期を点検する。

NO.	地区(統合校名案)	対象校	統合年度	校舎建設地	整備方式	会議体(2024年度)	新たな学校づくり 基本計画 推進協議会
1	本町田 (本町田ひなた小)	本町田東小 本町田小 町田第三小	2025 2028	2025-2027 本町田小(仮校舎) 2028- 本町田東小(新校舎)	PFI方式		
2	南成瀬 (成瀬小)	南第二小 南成瀬小	2025 2028	2025-2027 南成瀬小(仮校舎) 2028- 本町田東小(新校舎)	PFI方式		
3	鶴川東 (鶴川東小)	鶴川第二小 鶴川第三小(一部)	2029 2029-2033	2029-2032 鶴川第三小(仮校舎) 2033- 鶴川第三小(新校舎)	従来方式		
4	鶴川西 (鶴川中央小)	鶴川第四小 鶴川第三小(一部)	2026 2026-2028	2026-2028 鶴川第三小(仮校舎) 2029- 鶴川第四小(新校舎)	従来方式		
5	南第一小	南第一小	-	2027-2029 南中(仮校舎) 2030- 南第一小(新校舎)	PFI方式 (予定)		

中学校エレベーター設置事業 6億1,220万円

中学校4校(南中、成瀬台中、木曾中、小山田中)のエレベーター設置工事に着手する。

民間保育所保育体制強化事業 3億8,262万円

4、5歳児を受け持つ保育士の配置を30対1から25対1に改善した民間保育所に対し、給付金の加算を行う。

未就園児預かり推進事業 1,259万円

保護者の就労にかかわらず、幼稚園などを利用していない10歳児から2歳児の未就園児を定期的に預かる。この事業を実施する幼稚園などに対し運営費等の補助をする。

学校給食における物価高騰対策及び多子世帯給食費無償化事業 12億8,011万円

2024年4月1日から2025年3月31日まで、①給食費改正に伴う増額分について保護者の負担軽減を図る。②多子世帯の給食費を第2子以降無償化する。

児童手当支給事業・児童扶養手当支給事業 81億9,823万円

①児童手当制度の拡充:2024年10月から所得制限を撤廃し、高校生年代まで支給期間を延長し、第3子以降の手当額を一律3万円とする。②児童扶養手当制度の拡充:2024年11月分(2025年1月支給)から所得限度額の引き上げ及び、子どもが3人以上の多子世帯について加算額を増額する。

町田でちょうどいい暮らし ～私の“ココチよさ”がかなうまち～

多摩都市モノレールまちづくり推進事業 6,979万円

沿線地域のまちづくりの事業化に向けた検討を行い、基金を計画的に積み立てる。

中心市街地開発推進事業 1億383万円

町田駅周辺の開発推進のため、まちづくり検討を進め、特に森野住宅周辺地区の開発をリーディングゾーンとして、測量や交通基盤の検討を行う。

中心市街地活性化推進事業 8,758万円

原町田大通りの歩道の拡幅及び滞留空間を整備し、新たな憩いの場の空間、賑わい空間づくりにより、駅周辺や商店街の賑わい向上につなげる。

小田急多摩線延伸促進事業 1,000万円

延伸の早期実現を目指し、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施する。

相原駅周辺街づくり事業 7億7,433万円

東口駅前広場に接する地権者と駅前街区の再編整備に向け協議を進め、駅前交通広場の設計等を行い、東口へのアクセス路の整備を進める。

鶴川駅周辺街づくり事業 30億726万円

北口交通広場、南北自由通路、南口アクセス道路の整備工事等を行ないまた、鶴川駅南土地区画整理事業では、建物等移転、整備工事を行う。

芹が谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業 8億8,981万円

「パークミュージアム」の実現に向け、(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館等と公園を一体的に整備する。



(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備・運営事業 2,649万円

整備に向け、PFI事業者を公募・選定し基本協定・本契約の締結を行う。

忠生スポーツ公園(第二次)整備事業 2,563万円

2032年度オープンを目指し、峠谷地区・旧埋立地地区の整備準備を進める。

町田薬師池公園四季彩の杜の魅力向上推進事業 1億812万円

リス園のリニューアルのための基本計画を策定し、西園は計画区域内未使用地の取得。ボタン園は借地の用地取得、排水施設の改修設計を行う。

野津田公園スポーツの森整備事業 4億8,337万円

町田GIONスタジアムの照明LED化工事、南側アクセス改善のためのフィットライト設置工事や町田駅とのバス輸送等を行う。

香山緑地整備事業 3億2,031万円

2025年度1月開園に向けて、鶴川地域の観光拠点の1つとするため既存の建物の耐震・改修工事や庭園工事を行う。

小山田蓮田緑地整備事業 1億3,782万円

2025年7月の開園に向けて、観光資源である大賀蓮の魅力を活かし引き続き、用地取得及び整備工事を行う。

(仮称)大戸広場整備事業 2億9,232万円

2027年度末の開園を目指し、既存の緑地を活かしながら用地取得及び整備に係る実施設計、地質調査等を行う。

忠生630号線・忠生579号線整備事業 3億1,390万円

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進める。

町田で人と人、人と町がつながる ～誰もがホッとできるまち～

地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業 8,974万円

新たに2024年10月から忠生・南地域に地域福祉コーディネーターを配置し、福祉の相談支援体制を強化する。

避難行動要支援者避難支援体制整備事業 1,204万円

鶴川地区をモデル地区とし、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を開始。個別避難計画の作成方法や様式などの見直し、更に相談窓口を設置する。

障がい者差別解消推進事業 179万円

町田市における障がい者差別解消条例の制定を機に広く条例内容や制度周知を行い、障がい者差別解消に向けた関係機関との協働体制を整備する。

男性HPVワクチン接種事業 1,020万円

対象は、中学1年生から高校1年生(相当)の男性市民(約8000人)。接種回数3回。

異業種・異分野連携による新たな価値創出事業 2,500万円

“チャレンジするなら Tokyo町田から”

新たな価値の創出に取り組む事業者を支援し、町田市の地域経済循環を促進するため初期投資費用の一部を補助する。市内の飲食業者等(10社30店舗経営)が「民間事業者のクラフトビール事業」を計画し町田ブランドを発信する。

循環型施設整備事業 20億2,292万円

町田市バイオエネルギーセンターは、旧清掃工場を解体し、2024年9月に事業完了を予定。資源ごみ処理施設は、相原地区は、2028年度中の稼働を目標。上小山田地区は、2026年度から用地取得、用地測量を進める。

地域介護予防活動支援事業 1億1,751万円

介護サポートの養成など、住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。町田市の高齢化率は2023年12月現在、約27%(高齢者人口約117,000人)で、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、約36%(高齢者人口約143,000人)に達する見込み。

共創プラットホーム推進事業 1,256万円

地域のやりたいことの実現、地域課題の解決、地域活動の創出や活動の支援を行う。デジタルを活用した「共創プラットフォーム」の構築を推進する。

無電柱化推進事業 3億2,327万円

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るために、原町田中央通り・文学館通り(2029年度整備完了を目指す)、町田消防署前(2026年度整備完了を目指す)の無電柱化を進める。

町づくりを支える行政経営

～みんなの“なりたい”がかなうまち～

地域コミュニティに関する共同研究事業 800万円

教育・研究機関と共に、地域コミュニティに関する研究を行い、2024.2025年の2カ年で大学との共同研究を行う。

デジタル化推進事業 6億2,943万円

デジタル技術の徹底的活用による市民の利便性向上と市役所の生産性向上を目指す。

“e-まち”実現プロジェクト～できることからDXを始めよう！



公共施設等のマネジメント事業 4,191万円

①再編計画の意見直し②(仮称)新保健施設(健康福祉社会館・保健所中町庁舎の集約)の整備基本計画を策定。③学校跡地活用の基本計画の策定。

公共施設等維持保全事業 28億8,090万円

総合体育館(199